

平成29年度 事業報告

平成29年度事業計画にもとづき、各事業の実施に努めた。

水道産業界で活動している連合会会員は、その技術開発、生産活動等を通じて、上下水道・工業用水道の質的向上に努め、我が国の生活環境の改善や都市基盤の整備に大きく貢献している。連合会では、会員のこうした活動がやりやすい環境整備を目的に下記の諸活動を展開した。

1 政府機関等への要望活動

当連合会では、平成30年度政府予算の編成にあわせ、上下水道・工業用水道の事業量確保等に向けた一連の要望活動等を行った。

(1) 平成29年7月31日、各省庁の概算要求時に照準をあわせ、木股昌俊会長及び露口哲男、角川政信、水谷重夫、鈴木仁、山田和彦、野村喜一、酒井邦造、松原正各副会長を中心に総勢26名に及び要望団を編成し、厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、財務省に、それぞれ上下水道並びに工業用水道の各事業量の確保等に向けた要望活動を行った。

(2) 平成29年8月7日、自由民主党水道事業促進議員連盟主催による水道整備促進全国決起集会が衆議院第一議員会館で開催され、水団連からは野村喜一副会長、松原正副会長等が出席し、代表して角川政信副会長が水道法改正案の早期成立及び事業量の確保について要望した。

(3) 平成29年11月17日、公明党上水道・簡易水道問題議員懇話会主催による政策要望懇話会が衆議院第二議員会館で開催され、水団連からは仁井正夫専務理事が出席し、水道法改正の早期実現、水道関係概算要求・地方財政措置要求の満額確保や広域化、官民連携の推進に向けての支援を要望した。

(4) 平成29年11月22日、政府予算の財務省原案内示前に木股昌俊会長及び串田守可、露口哲男、角川政信、水谷重夫、鈴木仁、野村喜一、酒井邦造、松原正、中村靖各副会長を中心とした要望団を編成して予算要望とともに水道産業界への支援を要請した。

要望団は、総勢27名で厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、財務省の各省の上下水道並びに工業用水道の担当部課長等へ要望書を渡すとともに、要望内容について意見交換を行った。

更に上下水道・工業用水道関係に携わる衆参両議院議員102名に要望書を持参し、各水道の事業量の確保等について強く訴えた。

(5) その他

①-1 水道施設整備費等国庫補助事業に係わる工事歩掛の要望

平成29年5月8日、水団連加盟団体から要望があった請負工事、開削工標準掘削断面及び掘削幅の算定他に関する歩掛改訂要望について、厚生労働省水道課長に提出した。

①-2 厚生労働省施工技術調査検討会への意見要望

日 時 平成29年6月14日(水)午後1時30分

場 所 厚生労働省仮設第3会議室

内 容 ①-1についての詳細説明

出席者 (一社)日本ダクティル鉄管協会、配水用ポリエチレンパイプシステム協会、
全国管工事業協同組合連合会関係者7名

② (公社)日本下水道協会下水道意見交換会議への参加

下水道意見交換会議は、主催である全国下水道整備事業者団体協議会が解散した平成23年6月15日以降も(公社)日本下水道協会において剰余金により開催してきたが、平成29年2月の開催をもって終了となった。

2 関係団体行事への協賛

平成29年度事業計画に基づき、日本水道協会、日本工業用水協会、日本下水道協会、全国簡易水道協議会並びに全国水道企業団協議会の各総会及び地方支部総会に対して協賛を行なうとともに水道産業界への支援を要請した。

特に、水道展を併催する日本水道協会平成29年度全国会議には、協賛を行なうとともに開催都市である高松市に対し水道展への協力を要請した。

3 広報宣伝事業の実施

(1) 高松水道展の実施

日本水道協会平成29年度全国会議に併催して、水道展を開催し、会員の最新技術及び新規開発製品等を来場者に披露するとともに会員のカatalog展示を行った。

集客対策として開催案内チラシ及びポスターを作製し、開催市である高松市の協力により、近隣の事業体職員や高校などに水道展開催を周知した。また、来場者の利便を図るため、リーフレットを作成し、ブース配置図を業種別に着色するなど、案内を分かりやすくした。

なお、台風21号の影響により当初予定の3日間開催のうち初日の25日はテープカットのみ実施となった。

【第51回 高松水道展概要】

期 日 平成29年10月26日(木)～27日(金) (2日間)

場 所 高松市サンポート高松シンボルタワー北側広場

概 要 1) 出展会員数 127会員

ブース数 107

展示面積 4,628㎡

2) 来場者数 約4,800名

3) 来場者への記念品 「アイスクリームスプーン」

4) Catalog展示

展示会員数	43会員
カタログ数	74部
申込部数	549部(45名)

(2) 新聞・業界紙広告

年間事業計画に基づき、各種業界紙、関係業界雑誌などに次の広告を掲載した。

□ 広告掲載誌	業界新聞	37回
	業界誌	8回

(3) 機関誌「水団連」の発行

機関誌「水団連」を年4回(1月、4月、7月、10月)発行し、国の関係機関、研究機関のほか、都道府県庁所在地事業体・政令指定都市所在事業体など、主に水道は給水件数、下水道は処理量、その他工業用水道、企業団は事業規模を勘案し配布した。

※作成部数：毎回2,000部

4 常設カタログ展示場

日本水道会館には、(公社)日本水道協会ほか水道関連団体が入居しており、多くの会議、研修、講演会等が開催され、全国の事業体を含め多数の水道関係者が訪れる。

水団連では、1階に設置した常設カタログ展示場により会員の有する技術・製品情報を展示し、これら来訪者の情報提供を図っている。なお、平成29年度の展示状況は以下のとおり。

平成29年度の展示状況	□展示会員数	43会員
	□展示ポスト数	49ポスト

5 講演会等の開催

(1) 日 時 平成29年4月14日(金)午前10時15分

場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷2階「白樺西」

テーマ 平成29年度上水道関係事業体予算を聞く会

①「東京都水道局平成29年度予算の概要」

東京都水道局総務部主計課課長代理(予算担当) 田中 哲氏

②「平成29年度水道局予算概要」

横浜市水道局経営部経理課長 山田 源太氏

③「平成29年度当初予算」

神奈川県内広域水道企業団総務部財務課 池田 和弘氏

出席者 92名

- (2) 日 時 平成29年5月17日(水)午後2時30分
 場 所 東京トラック事業健保会館6階会議室
 テーマ 東日本大震災給水装置被害状況調査
 講 師 (公財)給水工事技術振興財団技術開発部 青木 光氏
 出席者 57名
- (3) 日 時 平成29年6月13日(火)午後1時30分
 場 所 全水道会館5階中会議室
 テーマ 「アメリカ南西部の水道事情―多様化する水道資源管理・淡水化・雨水利用・再利用―」
 講 師 パシフィック・アドバンスト・シビル・エンジニアリング 池端 慶祐氏
 テーマ 「クロラミンについて」
 講 師 (株)メルス技研代表取締役 関 秀行氏
 出席者 52名
- (4) 日 時 平成29年8月21日(月)午後2時30分
 場 所 東京トラック事業健保会館6階会議室
 テーマ 「東京水道の国際展開、2018年IWA世界会議・展示会」
 講 師 東京都水道局総務部国際施策推進担当課長 草野 陽樹氏
 出席者 92名
- (5) 日 時 平成30年2月1日(木)午前10時
 場 所 グランドヒル市ヶ谷 東館3階「珊瑚」
 テーマ 平成30年度上・工・下水道関係政府予算(案)を聞く会
 ①「水道関係予算案」
 厚生労働省医薬・生活衛生局水道課課長補佐 川崎 信一氏
 ②「工業用水関連予算案」
 経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課
 工業用水道計画官 佐々木 忠則氏
 ③「下水道事業予算案」
 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課
 課長補佐 岸田 秀氏
 出席者 68名

6 施設見学会の実施

第34回施設見学会

期 日 平成30年2月14日(水)

見学先 村山上貯水池堤体強化工事現場(東大和市)、羽村取水堰

参加者 26名

7 上水道基礎専門研修

若手社員が企業側の視点で官需に係わる基礎的業務内容を習熟し、今後の営業・技術・開発等に活用されることを目的に入社後1～2年程度経過した社員を主対象に以下の日程等により上水道基礎専門研修を実施した。

開催期間 平成29年7月3日(月)～4日(火)[2日間]

開催場所 日本水道会館7階第1会議室他

受講者 44名

カリキュラム・講師 等

水道事業の概要	厚生労働省医薬・生活衛生極生活衛生・食品安全部水道課	課長補佐	横井三知貴氏
水道事業の経営①	東京都水道局総務部主計課課長代理	高野	哲氏
水道事業の経営②	東京都水道局経理部契約課課長代理	三角	一夫氏
水道技術の基礎	(公社)日本水道協会工務部規格課長	若林	武夫氏
施設見学	神奈川県内広域水道企業団綾瀬浄水場		

8 調査事業

(1) 水道事業計画と資材需要調査

水道事業の今年度の事業計画及び資材需要を把握するため、厚生労働省の協力を得て調査を実施し、報告書を会員に提供すると共に、全国の水道事業体へも配布した。

9 情報提供

厚生労働省や国土交通省などから入手した通知、資料等について、会員活動に有意義と思われる資料を精査し、メールや水団連ホームページを通じて会員に情報提供を行った。

10 表彰事業

(1) 会長表彰(昨年通常総会において表彰)

- 感謝状(30年)2会員、(20年)2会員、(10年)3会員、特別感謝状1氏
- 表彰状(役員10年)4氏、(委員10年)2氏、(役員・委員代理10年)4氏

(2) 厚生労働大臣表彰

- ① 水道関係功劳(平成29年11月22日)
岡崎憲明氏((一社)全国さく井協会)

11 海外協力事業

(1) 第50回 国際協力機構(JICA)上水道研修コースへの協力

期 間 平成29年5月15日(月)～7月14日(金)[約2か月]

研修場所 [講義(日本水道協会)]日本水道会館会議室ほか
[工場見学]会員施設

研 修 国 アジア・アフリカ・中米の6か国

研修人員 8名

※研修終了日(7月14日)に、ランドヒル市ヶ谷2階「白樺西」において、関係者60名が出席し歓送会を開催して交流を深めた。研修生には当連合会から研修アルバムを贈呈した。

(2) ISO/TC224(国際標準化機構技術委員会)への参画

ISO/TC224が定める上下水道サービス事業の国際規格については、(公社)日本水道協会に設置されたISO/TC224上水道国内対策委員会において調整、検討を行っており、本連合会からも委員を派遣し産業界の立場から意見を発信している。

また、ISO/TC224総会等へも出席し、29年度は2回開催された。

6月 第11回総会 水損失管理準備会議 WG7及びWG9

中華人民共和国広東省深圳市

11月 WG7及びWG9 ドイツ連邦共和国・ベルリン市

(3) 第7回国際水協会(IWA)アジア・太平洋地域会議・展示会 2017に出展

国際水協会の第7回IWA-ASPIRE会議・展示会が、平成29年9月11～14日の4日間、マレーシア連邦クアラルンプール市のコンベンションセンターにおいて「境界の打破-アジア・太平洋地域のよりよい水未来のために」をテーマに開催され、33の国と地域から650人の水専門家が参加した。本連合会では、展示会内に設置されたジャパンパビリオンにおいてパネル展示を行うなどの情報発信を行った。

(4) 第11回国際水協会(IWA)世界会議・展示会開催国委員会等への参加協力

平成30年9月16日(日)から21日(金)にかけて「第11回国際水協会(IWA)世界会議・展示会」が東京ビッグサイトで開催される。この会議・展示会は隔年で開催され、水に関する世界最大規模のイベントとして、日本で初めて東京で開催されるものである。この会議・展示会の開催準備及び円滑な運営を図るため、開催国委員会及び各種専門部会が設置されたが、当連合会では開催国委員会及び協賛推進専門部会に参画するとともに、「IWA世界会議・展示会応援小委員会」を立ち上げ、情報共有を行なった。

12 新年名刺交換会の開催

恒例の新年名刺交換会は、日本水道協会・日本下水道協会・日本工業用水協会・全国簡易水道協議会及び当連合会の共催により以下の3地区で開催した。

(1) 東京地区

平成30年1月9日(火)午後3時から西新宿のヒルトン東京4階「菊の間」において開催した。

会場には、高木美智代厚生労働副大臣の他、小林鷹之、務台俊介、盛山正仁(以上自由民主党)、石田祝稔、大口善徳、太田昭宏、古屋範子(以上公明党)、森山浩行(立憲民主党)各衆議院議員、井上義行(自由民主党)、横山信一(公明党)各参議院議員並びに関係省庁、事業体ほか会員計約950名の出席があった。主催5団体を代表して木股昌俊会長の挨拶のあと各界との交流を深めた。

(2) 名古屋地区

平成30年1月10日(水)午前11時から名古屋市中村区の名鉄グランドホテル11階「柏の間」において、中部ウォータークラブ、全国上下水道コンサルタント協会中部支部及び5団体共催により開催し、山田雅雄中部ウォータークラブ理事長による挨拶のあと交流を行った。出席者:約350名

(3) 大阪地区

平成30年1月10日(水)午後3時から大阪府中央区のシティプラザ大阪2階「旬の間」において、関西ウォータークラブ及び5団体共催により開催し、串田守可副会長等による挨拶のあと交流を行った。出席者:約500名

13 国主催の中央行事等への協賛

(1) 第59回 水道週間

期 間 平成29年6月1日(木)～7日(水)
主 催 厚生労働省、都道府県ほか
スロガソ 「あたりまえ そんなみずこそ たからもの」

(2) 第41回 水の週間中央行事「水を考えるつどい」

期 日 平成29年8月1日(火)[期間8/1(土)～8/7(金)]
場 所 イイノホール
主 催 水循環政策本部、国土交通省、東京都など実行委員会

(3) 子ども霞が関見学デー

期 日 平成29年8月2日(水)～3日(木)
場 所 中央合同庁舎5号館低層棟講堂ほか
主 催 厚生労働省、経済産業省、国土交通省など26府省庁等の連携

(4) その他の協賛等

① 健康のため水を飲もう推進運動

目的 「健康のため水を飲んで、熱中症や脳梗塞などの重大な事故から尊い人命を守る」

主催 「健康のため水を飲もう」推進委員会(委員長＝武藤芳照東京健康リハビリテーション総合研究所)

後援 厚生労働省、本連合会ほか

② 第59回「水の写真コンテスト」(水道週間協賛事業)

募集期間 平成29年6月1日(木)～9月10日(日)

題材 水のある風景、水を利用している場面、水道施設または工事風景

主催 (株)水道産業新聞社

後援 厚生労働省、本連合会ほか

特別賞 (一社)日本水道工業団体連合会会長賞

③ 第121回 再生可能エネルギー世界展示会

期間 平成29年7月5日(水)～7日(金)[3日間]

場所 パシフィコ横浜

主催 (特非)再生可能エネルギー協議会(代表＝黒川浩助東京農工大学名誉教授)

後援 経済産業省、環境省、国土交通省ほか

協賛 本連合会ほか

④ 下水道、くらしを支え、未来を拓く「下水道展'17 東京」

期間 平成29年8月1日(火)～4日(金)[4日間]

場所 東京ビッグサイト

主催 (公社)日本下水道協会

後援 国土交通省、環境省、経済産業省、日本下水道事業団ほか

協賛 本連合会ほか

⑤ 第9回 シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」

期間 平成29年8月24日(木)～25日(金)[2日間]

場所 横浜国立大学工学部講義棟A-107

主催 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会(委員長＝清塚雅彦横浜市水道局担当理事水道技術管理者配水部長)

後援 厚生労働省、本連合会ほか

⑥ 次世代に未来を臨む設備博

期 間 平成29年9月15日(金)～16日(土)[2日間]
場 所 パシフィコ横浜
主 催 80周年記念事業「設備博」実行委員会(横浜市管工事協同組合)
後 援 本連合会ほか

⑦ Aqua KANSAI 2017

期 間 平成29年9月28日(木)～29日(金)[2日間]
場 所 グランフロント大阪 コングレコンベンションセンター
主 催 (株)JTBコミュニケーションデザイン
後 援 本連合会ほか

⑧ エコテクノ2017(地球環境ソリューション展&ICT* -先端技術展)

期 間 平成29年10月11日(水)～13日(金)[3日間]
場 所 北九州市・西日本総合展示場新館他
主 催 福岡県、北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会
後 援 国土交通省、経済産業省九州経済産業局、環境省九州地方環境事務所、本連
合会ほか

⑨ い〜い井戸の日 2017 in 中国

期 日 平成29年11月10日(金)
場 所 広島市・ホテルメルパルク広島
主 催 (一社)全国さく井協会
後 援 国土交通省
協 賛 本連合会ほか

⑩ Japan Home & Building Show 2017

期 間 平成29年11月15日(水)～17日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (一社)日本能率協会
後 援 経済産業省、国土交通省
協 賛 本連合会ほか

⑪ 浄水技術研究会第18回講演会

期 日 平成29年12月1日(金)
場 所 自動車会館大会議室
主 催 浄水技術研究会
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑫ 2018年度ミス日本「水の天使」

選考日 平成30年1月15日(月)
役 割 生命の豊かさを支える美しい水のための人々の努力と、世界の水インフラの発展に貢献できる日本の素晴らしい経験と技術をわかりやすく伝える
主 催 (一社)ミス日本協会
協 賛 本連合会ほか
受賞者 モデル・浦底里沙さん(鹿児島県出身21歳)

⑬ InterAqua 2018 第9回国際水ソリューション総合展

期 間 平成30年2月14日(水)～16日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (株)JTBコミュニケーションデザイン
後 援 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(公社)日本水道協会、本連合会ほか

⑭ 2018 JDA Forum

期 日 平成30年2月15日(木)
場 所 東京ビッグサイト
主 催 日本脱塩協会
後 援 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(公社)日本水道協会、本連合会ほか

15 協議会等への所属状況

- (1) (公社)国際厚生事業団
- (2) (特非)日本水フォーラム

16 事務局として関わる組織

- (1) 水友会
- (2) 関東全水道人囲碁同好会

17 水団連ホームページによる情報発信

水団連ホームページでは、関係省の施策、予算等の情報提供を行うとともに、水道展関係資料、講演会開催等の周知を図っている。

18 中小企業等経営強化法に基づく固定資産税特例措置証明書発行業務

平成28年7月1日に施行された中小企業等経営強化法により、中小企業者が新たな機械・装置に投資した場合、取得する機械・装置について、一定の要件を満たした場合固定資産税を3年間1/2に軽減する特例措置が適用されることとなった。本連合会は、当該案件の証明書を発行する団体の指定を受けたので、証明書発行業務を行った。

※ 平成29年度の証明書発行件数 3件

なお、本件にかかる発行業務については、税制措置期間である平成31年3月31日までとなっている。

第3号議案 理事の補充選任(案)

下記の理事から来る6月1日開催の通常総会終結時をもって辞任したい旨の届けがあったので、定款に基づき役員を選任についてご審議頂きたい。

なお、新たに選任された役員の任期は、定款により前任者の残任期間(平成31年第53回通常総会まで)となる。

〔理事〕

- | | | | | |
|-----|----|-------------------|------------------------|-------|
| (1) | 前任 | JFEエンジニアリング株式会社 | 専務執行役員環境本部副本部長 | 露口哲男氏 |
| | 新任 | JFEエンジニアリング株式会社 | 常務執行役員環境本部副本部長 | 福田一美氏 |
| (2) | 前任 | 愛知時計電機株式会社 | 執行役員東京支店長 | 國島賢治氏 |
| | 新任 | 愛知時計電機株式会社 | 執行役員東京支店長 | 橋本治氏 |
| (3) | 前任 | 株式会社NJS | 取締役東部支社長 | 秋山暢彦氏 |
| | 新任 | 株式会社NJS | 代表取締役社長 | 村上雅亮氏 |
| (4) | 前任 | 荏原実業株式会社 | 特別顧問 | 小林孝泰氏 |
| | 新任 | 荏原実業株式会社 | 執行役員環境システム本部副本部長兼東京支社長 | 川村幸男氏 |
| (5) | 前任 | 一般社団法人日本水道工業団体連合会 | 専務理事 | 仁井正夫氏 |
| | 新任 | 一般社団法人日本水道工業団体連合会 | 企画参与 | 宮崎正信氏 |

〔参考〕

定款第13条(抜粋)

理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事は、正会員の中から選任するものとする。理事のうち1名は、会員以外の者から選任することができる。

定款第16条(抜粋)

理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

3 補欠により選任された理事又は監事の任期は、それぞれ前任者の残任期間とする。

平成30年度 事業計画

本連合会の事業目的は、会員の諸活動を側面から支援し、広く水道界の発展に貢献することにある。会員が自由で活発な技術開発・生産活動等を通じて、上下水道・工業用水道事業の質的向上を図り、国民の生活環境や都市の発展に貢献する活動に対して、本連合会はそれを側面から支援する諸事業を実施する。

平成30年度も前年度に引き続き関係機関と連携しつつ、上下水道・工業用水道施設の喫緊の課題である老朽施設の更新や耐震化の促進に資する活動、水道産業界に資する情報収集や支援策検討等の活動に力を入れて取り組むこととする。

1 国会・政府機関及び地方公共団体等への要望活動

- (1) 関係国会議員へ水道事業等推進に係る要望
- (2) 厚生労働・経済産業・国土交通・財務・総務各省へ水道事業等推進に係る要望
- (3) 水道関係・歩掛改定の要望(厚生労働省)
- (4) 下水道関係事項についての意見要望(国土交通省・日本下水道事業団・事業体)

2 政府機関及び地方公共団体・各種事業者団体等への事業協力及び各種行事への協賛

- (1) 日本水道協会、日本下水道協会、日本工業用水協会、全国簡易水道協議会等の事業協力及び各行事等への協賛
- (2) 政府が主催する水道週間、水の週間等への協賛
- (3) 関係省の告示等関係文書の周知及び事業協力
- (4) 関係協議会等への参画
- (5) その他関係団体の展示会・行事等への協賛

3 広報活動事業

- (1) ホームページによる情報発信
- (2) 機関誌「水団連」による広報活動
- (3) 業界新聞及び出版物への広告掲載

4 講演・研修・施設見学会活動

- (1) 定例講演会
- (2) 政府及び事業体予算説明会
- (3) 上水道基礎専門研修
- (4) 上下水道施設見学会

5 海外協力事業

(1) 国際協力機構(JICA)上水道研修コースへの協力

(2) ISO/TC224上水道国内対策委員会への協力

ISO/TC224(国際標準化機構技術委員会)が定める上下水道サービス事業の国際規格に対して、日本水道協会に設置されたISO/TC224上水道国内対策委員会に協力し、ISO/TC224規格案への取り組み方針や調整、検討に委員を派遣する、また同国際会議への出席など支援を行う。

(3) 第11回国際水協会(IWA)世界会議・展示会への協力・協賛

本年東京都で開催される国際水協会(IWA)世界会議について、開催国委員会等への参加、また展示会開催に協力・協賛を行う。

開催期間 平成30年9月16日(日)~21日(金) (展示会も同期間開催)

開催地 東京ビックサイト

ア) 2018年IWA世界会議・展示会開催国委員会等への参加

○ 開催国委員会

東京都、日本水環境学会、厚生労働省、国土交通省、環境省、その他関係団体で委員構成

○ 協賛推進専門部会

東京都水道局、東京下水道局、日本水道協会、日本下水道協会、日本水環境学会、本連合会で委員構成し、テクニカルツアー等の実施等を検討

イ) 展示会 「ジャパンパビリオン」への水団連概要パネル展示

6 水道展開催事業

(1) 水道展

□ 日本水道協会・全国会議・研究発表会/併催展示会

開催期間 平成30年10月24日(水)~26日(金)

場 所 福岡市 「マリンメッセ福岡」

(参考)日本水道協会全国会議・研究発表会

開催期間 同上期間

場 所 総会・シンポジウム : 福岡サンパレスホテル

研究発表会・昼食会場 : 福岡国際会議場

(2) カタログ展

□ 水道展併設カタログ展

□ 常設カタログ展示(日本水道会館1階)

7 水道事業計画と資材需要調査の実施

平成30年度事業計画における新設、拡張改良事業を都道府県経由で調査

対 象 全水道事業体

時 期 5月～6月

8 催事事業

□ 新年名刺交換会(地区別)

○ 東京地区：平成31年1月8日(火)／ヒルトン東京（新宿区西新宿）

主 催 日本水道協会、日本下水道協会、日本工業用水協会、全国簡易水道協議会及び本連合会

○ 名古屋地区：平成31年1月9日(水)／名鉄ニューグランドホテル（名古屋市）

主 催 東京地区主催5団体、全国上下水道コンサルタント協会中部支部、中部ウォータークラブ

○ 大阪地区：平成31年1月9日(水)／シティプラザ大阪（大阪市）

主 催 東京地区主催5団体

後 援 関西ウォータークラブ

9 表彰事業

(1) 大臣表彰等の具申及び申請

(2) 表彰規程に基づく会長表彰

10 その他の活動

事務局支援活動

□ 水友会 □ 関東全水道人囲碁同好会

11 会 議

(1) 第52回通常総会／平成30年6月1日(金)

(2) 役員会(正副会長会議、理事会、監査会)

(3) 常設委員会等

□ 企画委員会

□ 表彰委員会

□ 資格審査委員会

□ 技術情報委員会

□ 予算委員会

□ 広報宣伝委員会

□ 決算委員会

※機関誌編集小委員会

□ 需給調査委員会

□ 団体連絡協議会

□ 海外委員会

12 新水道ビジョン推進協議会への協力

新水道ビジョン推進協議会は、新水道ビジョンに示された各種方策を推進するため、その実施主体となる関係者が実施状況を共有し密接に連携することとしており、本連合会も引き続きその推進に資する協力を行う。

13 水道法改正に向けての対応

政府においては、水道事業の基盤強化等に向けた水道法の改正作業が進められている。

改正法が国会において可決成立した後の施行において、必要があれば本連合会としても所要の提言等を行うための検討を行う。

14 中小企業等経営強化法に基づく固定資産税特例措置証明書発行業務

平成28年7月に「中小企業等経営強化法」が施行され、中小企業・小規模事業者の生産性向上について支援されることになり、本連合会は固定資産税を軽減する特例措置についての証明書発行業務を行う。

(適用期間は、法律の施行日から平成31年3月31日まで)